

霊友会釈迦殿

所有者 霊友会
設計者 株式会社 竹中工務店
施工者 株式会社 竹中工務店
管理者 霊友会
竣工 1975年10月31日



霊友会釈迦殿は竣工が昭和50年で21年経過しているが、BELCA賞の現地審査にあたって、審査員から「竣工検査ではないか」という言葉がでた程の新鮮さがこの建築には存在していた。設計された当時の関係者の情熱が今でも感じられ、それを今日まで美しく使い込んでこられた教団関係者と建築関係者の努力が見た目にも分かり正確な記録にも表れている。

東京麻布台の坂の多い立て込んだ敷地条件の中で、周囲の建物とは異質な建築を巧みに配置し、適度な対比の緊張を保たせている。力強い存在感がありながら、見る者の立つ位置によって建築の印象が変化する。一つの建物を周辺の風景の中で活かす不思議な魅力がある。

余り広くない敷地の中で、立体的な外部空間を建築の中に取り込み、メインの釈迦殿大ホールへの参道としてのアプローチを構成し、周囲に変化をつけている。素晴らしい木彫のお釈迦様を拝する音と光の演出は、建築環境と一体に溶け込んで美しい。これも竣工当時そのままだそうで新鮮である。

外部空間を内部に組み込んだ仕掛けが、信者以外の一般の人々も接近しやすい雰囲気を生み出し、周辺居住者にも親しまれる開放感を感じさせているのだろう。

内外共に誠に手入れが行き届いており、全く古さを感じさせない。清掃が容易な建物では決してないので、関係者の努力が偲ばれる。設備的には竣工以来21年経過しているが、稼働日数が少ない関係か、主要設備の改修は行われていない。長寿命化・メンテフリーを目指した建築であり、使い勝手が変わらない社会的劣化の少ない建築であると評価できる。

以上、総合してこの霊友会釈迦殿はBELCA賞LLB部門を受賞するにふさわしい施設であると認められる。